



絆が生まれたすてきな文化祭

10月26日(土)、令和6年度岩国市立錦中学校第50回文化祭を開催しました。

錦中学校の文化祭は錦体祭と同様に「一生懸命」という言葉を大切にしてきました。文化祭に向けての日々の活動に取り組む錦中生の姿に「気概」とか「心意気」を感じました。特に3年生のリーダーシップには感心しました。

今年の文化祭テーマは「彩～創り出せ僕らの虹～」でした。「みんなでがんばるんだ」「みんなで創るんだ」という「みんなで」を大切にしながら、みんなで「手と手を取り合う」「手と手を繋ぐ」そんなイメージで錦中生が取り組んでいる姿を頼もしく見ていました。

1年生は「自分たちがふるさとのことをもっと知りたい。そして、みんなにふるさとのすばらしさを伝えたい」という思いから「ふるさとPR動画」の制作に取り組みました。制作にあたっては、地域おこし協力隊の木村さん、深谷峡温泉清流の郷の林さん、地底王国美川ムーバレーの岩本さんのご協力を得ながら、すてきな「ふるさとPR動画」を完成させました。今年は昨年取り上げることのできなかった美川方面にもスポットをあてて、発表でき、とてもよかったと思います。

2年生は、錦町の事業所を中心に行った「職場体験学習」の発表を行いました。各事業所において、様々な体験をさせていただいたことで、「自分の志」を考えるきっかけとなり、とてもよい経験になったことが伝わる内容でした。また、銀河鉄道の夜をモチーフとした発表は清流線をイメージさせるものとなり、感心させられました。

3年生は、劇『色づいた「さよなら。」』を披露しました。短い準備期間であったにもかかわらず、長いセリフを覚え、一人ひとりが個性豊かな役を演じ切りました。クラス全員、そして3年部の教員で創りあげた見事な劇でした。「3年生になったらクラスで劇をやる」という錦中学校文化祭の良き伝統を繋ぎました。後輩たちもこの伝統を受け継ぐに違いありません。

吹奏楽部の演奏もすてきでした。3年生の引退が近づいていますが、「美川ふるさとまつり」「錦ふるさとまつり」にも出演します。常に地域貢献活動を行う吹奏楽部に感謝です。

総合文化部(制作)の展示物もすてきでした。岩谷観音窟物語の紙芝居、ハロウィンをテーマにした巨大折り紙アート、ひかりとり紙アートと、この1年間の成果を見ることができました。現在も錦中学校に展示していますので、ご覧いただけたらと思います。

全校合唱の「HEIWAの鐘」「SMILE」は、練習を重ねるたびにすてきになってきました。「合唱はみんなの力が足し算でなく掛け算になる」そんなことを改めて感じました。すてきでした。



そして、最後によさこい「好きです!錦町」を全員で踊りました。「錦よさこい連 螢」のメンバーさんたちも応援に駆けつけてくださいました。踊っている錦中生が「笑顔」、観ている人たちが「笑顔」でした。地域と繋がる踊りとなり、こちらも錦中の伝統にしていきたいと思います。

「人は手を繋ぎ、そして、個性や縁を紡ぎ、やがて絆が生まれる」

錦中学校文化祭は、錦町・美川町が抱える「人口減少」「人口流出」「清流線問題」等の地域課題に対する解決策を具現化したものとなりました。「錦中生から大人への提言」をありがとうございました。君たちは必ず「すてきな大人」へ成長します。

絆が生まれたすてきなウォークラリー

10月31日(木)、「知ってふるさと!～錦ウォークラリーの旅～」を錦清流小・宇佐川小・錦中の小中一貫地域連携イベントとして行いました。このイベントは5月30日(木)に実施した錦中校区拡大熟議において、地域の大人と一緒に児童生徒が「地域を盛り上げるために自分たちにできること」について話し合い、いくつか候補を出し、その後の協議の結果、広瀬のまちをかけ巡る約4.5kmのウォークラリーを行うこととしました。8つのチェックポイントでは、熟議で出された意見を参考に、各校で分担して子どもたちが考え、楽しめるように企画しました。

保護者、地域のみなさまにもお声かけしたところ、20名近くの方々の参加がありました。当日は、グループに入っていただき、広瀬のまちを歩いていただきました。ご参加ありがとうございました。

ウォークラリー中はゴミ拾いをしながら巡りましたが、ほとんどゴミはありませんでした。改めて広瀬のまちの美しさを感じました。

チェックポイントのひとつに「錦町駅」がありました。錦町駅ではプランターに清流線にちなんだピンク・青・黄色・緑を基調とした花の苗植え競技を行いました。それぞれのグループがすてきなプランターを完成させました。完成品は錦町駅にありますので、是非ご覧ください。

最後に子どもたちに感想を聞いたところ、「楽しかった」という声がたくさんあがりました。また、「小・中学生、地域の大人との絆が深まった」との声もありました。「絆」が生まれたすてきなウォークラリーになりました。「人口減少」「人口流出」を抱える錦中学校区において、「絆」を深めていくことは最も大切なことではないでしょうか。錦中生は「地域の力」になるために、自分たちでできることをこれからも行っていきます。「地域貢献中学校」をめざします。地域のみなさま、遠慮なくお声をよろしくお願いします。

「師井浩二先生」がやって来る

11月16日(土)、1・2年生は道德の参観授業(13:30～14:20)、3年生は進路説明会(13:05～14:20)、その後、人権教育講演会(14:30～15:30)が行われます。是非、ご来校いただけたらと思います。

今年の人権教育講演会は講師に宇部鴻城高等学校副校長(元宇部市立上宇部中学校校長)師井浩二様をお招きしています。『感動 One for all All for one ～最後はハート～』という演題で錦町・美川町に元気を与えてくださる熱いお話をしていただく予定です。私の憧れの人の講演です。保護者のみなさまだけでなく地域のみなさまも是非聴きにきてください。お待ちしております。

